

美術 に対する「姿勢」と「覚悟」

表現と表現がぶつかりあう場で生まれる、



東京藝術大学
美術学部 芸術学科 卒業

広報・IR室

小松 梨紗子さん

東宝株式会社（2019年入社）
（現部署）映画企画部 映画企画室
兼 ミュージック&エンタテインメント企画室
www.toho.co.jp

“ないものをつくる”のが好き。
社会を動かすような映画をつくりたい。

社会を動かすような映画をつくりたい。

映画作りについて
学べる学校を探して

映画『ベンジー（1974）』を見たとき、その映画が巻き起こした社会現象を知り、「映画が持つ力は底知れない」と思いました。映画を学ぶにはどうしたらいいだろう、と調べていたところ、芸大の大学院に映像の研究科があることを見つけました。そこで、まずは芸大の学部に入ろうと思い、芸術全般を学べる学部を受験しました。

プロデューサーを目指して

大学2年のときに、東宝のインターンシップに参加しました。映画の企画書を書いたり、プロデューサーについてスタジオに行き、制作現場を見て学ぶという1週間の体験で、私がなりたいのはプロデューサーだと強く感じました。

社内外の窓口となる
広報活動を担当

総務部の広報・IR室に所属しています。広報部は会社の窓口となる業務が多く、最近は海外からのゴジラに関する問い合わせが多いです。ほかにも、映画に関する取材の対応、インタビューの段取りを整えるなど、映画関係者とメディアをつなぐ仕事のほか、自社サイトの運営、CSRレポート、社内報の発行など、映画業界について社内外に伝える活動を担当しています。

「世界に愛されるゴジラに愛着」

企業や学校などに招かれて会社を説明する機会があるのですが、ゴジラといえは誰もが知っていますし、海外の記者さんが熱くゴジラ愛を語ることもありま。私自身、ゴジラに関わる機会が多く、愛着がわいてきました。ゴジラが世界中でも広く認知され、多くの方々に愛されていると感じる瞬間がとても楽しいです。また、毎年1月に「企画月間」があり、社内で誰もが映画の企画にチャレンジできる制度があります。私もこの期間中に20本程企画書を用意しました。

「ないなら、つくるまで！」

小さいころからものづくりが好きで、特に料理が好きでした。進学先を決めるまでは、将来パティシエになりたいと思っていたので、まさか芸大に入るとは思っていませんでした。今は、広報業務に取り組みながら、時間のある時に映画の企画書を作り、また、会社には社員食堂を作りたいという夢を持っています。迷うことがあればいろいろな人に聞いて、とにかくチャレンジしてみることを心がけています。東宝では、新しい才能を発掘するために、クリエイターズオーディションを開催しています。興味のある方は、GEMSTONEで検索、応募をお待ちしています。

東京藝術大学

上野キャンパス
〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8
[美術学部教務係]
050-5525-2122



東京藝術大学



関連キーワード
関連業種

映画・エンタメ・情報通信
広報、IR・映画製作・映画配給



東京藝術大学を卒業した先輩が携わったプロジェクト

- ① 海外からのゴジラ関連取材にも対応します
- ② GEMSTONE／新人発掘オーディション「GEMSTONE」で若手の活躍を応援！
- ③ 講演会などで会社と映画業界についてお伝えする機会も多いです
- ④ 社内報は月1回のペースで発行しています



この業界・仕事を志す大学生に聞く！

同じ道を志す個性的な仲間との出会い、仲間と高め合う。気づきを与えてくれる環境

「さまざまな芸術分野の鬼才たちと
ともに学びたい」

東京藝術大学を志望したのは、文化の発信地である上野で、さまざまな芸術分野の鬼才たちとともに学びたいという思いがあったからです。中でも、美術館学芸員や美術批評家、研究者、ジャーナリストなど、美術に関わる幅広い分野で卒業生が活躍している芸術学科を志望しました。

「授業や美術館での鑑賞体験を経て、興味をもった現代美術」

大学生活を通し、同じ美術の道を志す個性的な友人がたくさんできました。まわりには自由な発想で美術と向き合っている学生がたくさんいます。お互いに刺激し合い、高め合うことのできる環境も、芸術大学の魅力だと思います。高校時代にはあまり縁のなかったギャラリーなどにも通うようになりました。

大学での授業や美術館、ギャラリーでの鑑賞体験を経て、今後、深く学んでいきたいと思っているのは現代美術です。「これ」という明確なきっかけがあったわけではありませんが、好きなことを追求するうちに少しずつ将来のビジョンが拓けてきた感じです。

「物事を別の角度から
見るための「気づき」」

私にとって美術は、物事を別の角度から見るための「気づき」を与えてくれる存在です。中でも私が学んでいる現代美術は、社会問題や哲学的な考察など、さまざまな文脈をもっているジャンルです。より広い視野をもって作品を鑑賞する力や新しい発見をする考察力を磨き、それを社会に出てからもいかしていきたいです。



角野 文さん 4年(取材時)

東京藝術大学
美術学部 芸術学科
都立国立 高校出身

表現の影響力を極める

自由な発想で枝を伸ばす

大井 美咲さん(1994年生まれ)
多摩美術大学
美術学部 グラフィックデザイン学科 卒業
株式会社毎日新聞社
編集編成局情報編成総センタービジュアルグループ
www.mainichi.co.jp



やりたいことは
やってみよう!

言葉だけでは伝えきれない情報を、
視覚化してわかりやすく届ける

社会で活躍する先輩の声

「やらないで後悔するより、
やって後悔したほうがいい」

子供のころからものづくりや絵を描くことが好きだったので、美術予備校に通って美大を目指していました。合格するために必要なデッサン力が身につきましたし、予備校の環境が良い刺激になったと思います。体験入学ができる予備校もあるので、美大進学に興味がある人は一度参加してみると良いと思います。普段から身のまわりに貼ってあるポスターや本の装丁、商品パッケージなどを注意してみて、いいなと思ったものをインプットする習慣も大切だと感じました。美大卒業後の就活に対する不安はありましたが、「やらないで後悔するより、やって後悔した方がいい」という気持ちで受験勉強に取り組んでいました。

「さまざまな分野の表現手法や
技術に触れる」

私が進学したのは、多摩美術大学のグラフィックデザイン学科です。グラフィックデザイン以外にも、ビジュアルコミュニケーションの基礎として写真やアニメーション制作、タイポグラフィやWEBデザインなども学びました。入学当初、あまり関心なかった分野の表現手法や技術にも触れることができたのは、とても良い経験になったと思います。講義をとにも受ける学生も、思考や表現手法が多様だったので、刺激をもらいつつ学ぶことができました。

「新聞社の仕事は、
社会の出来事に深く関わるもの」

新聞社の仕事は、社会の出来事に深く関わるもの。その中でも私は図・年表・グラフ・地図などのインフォグラフィックのデザインを担当しており、紙面レイアウトをする記者と記事を書く記者と一緒に、紙面に載せる図版を考えています。報道で言葉だけでは伝えきれない情報を、客観的に整理して視覚化し、わかりやすく読者に届けることが大切です。やりがいを感じるのには、自分がデザインしたものが新聞紙面やWEBに掲載され、多くの人に情報を届けられたとき。友達にデザインしたものを見られることもあるのですが、「参考になるね」とか、「わかりやすい!」って言ってもらえると、自分の仕事が誰かの役に立ったことを実感することができてうれしいです。

「いろいろな人との出会いから
価値観や視野を広げる」

職場では、デザインや美術関係のことを大学などで学んできた人が多いです。イラストレーターやフォトショップなどのデザインソフトは少し触れておいた方が仕事がしやすいと思います。私は学祭の実行委員をやったり、展示などに参加したりして、いろいろな人との出会いから価値観や視野を広げることができました。みなさんも、自分のやりたいことや興味のあることを見つけて、後悔しない道を選んで進んでください。



関連キーワード
関連業種

インフォグラフィック・ビジュアルコミュニケーション・報道・新聞記者・新聞編集者
グラフィックデザイナー・エディトリアルデザイナー・ブックデザイナー

多様な分野でリーガルマインドを

発揮できる人材を育成

社会で活躍する先輩の声

どんな被写体を写しても
自分自身の人間性が写真には出る



感動を
与えよう!



「アートを通じて
自分の想いを表現したい」

自分の想いや考えを、表現する仕事に就けたらいいと思っていたのですが、私は口下手なタイプで絵心もありません。そこで興味が沸いたのが「写真」でした。写真はリアリティを追求しながらも、自分の感性を織り込むことができるものです。大学では写真学科に進み、4年間で技術を身に付けました。

「大学で学んだのは
生きることへの心構え」

人との出会いです。当時、出会った人から掛けられた言葉は、今も心に刻んでいます。入学して早々、クラス担任の先生から「原罪」についてのお話がありました。キリスト教では、アダムとイヴがエデンの園を追われた罪＝original sin(原罪)を、人類がすべて受け継いでいるという考え方があります。それを引き合いに出し「写真学科が第一志望ではなかった人もいるでしょう。でも、あなたがこの場に居るということは、ほかの誰かが願った席を奪ったということです。だからこそ、4年間は必死に写真を学びなさい」とおっしゃいました。大学でできた親友も「頑張る時期が1回も無かった人は、人生がすごつまらないものになる」と言って、何事にも全力投球でした。真摯に生きることの意義を、いつもその言葉に見出します。

「もう1度仕事をしたいと
思ってもらえる自分である」

撮影などのスキルは必要ですが、それに加えて求められるのが「もう1度、仕事をしたい」と思ってもらえるような人間力です。私も仕事を下さる方への感謝の気持ちを常に持ち続け、謙虚な気持ちで撮影に挑んでいます。

また、撮影した写真には人間性が出るものなので、教養を身に付けることも忘れないでください。これは受け売りですが「教養とは『旅』『経験』『読書』『アート』をインプットし、アウトプットする。これを繰り返すことで身に付いていく」といいます。私も本を読む回数は意識して増やしています。ほかには「ブレない心」です。被写体をどう見せたいのか、写真から何を感じて欲しいのか、撮影しているカメラマンがブレしてしまうと、何も伝わらない写真になってしまいますから。求められるものを把握し、どう撮影するのか、しっかりと落とし込んでシャッターを切ります。

「人の心を明るく照らすもの
それこそが芸術である」

極端な例えですが、絶望に打ちひしがれた人が、それに触れたことで生きる活力を取り戻すことができたとしたら、「それ」が芸術なのだと思います。決してクリエイターだけが生み出すものではなく、アスリートの戦う姿も、心を動かす「それ」がある。すべての物事に「芸術」は宿っていると思います。

造形活動の探究と実践

社会をつくり出す創造的な



東京造形大学

造形学部デザイン学科
インダストリアルデザイン専攻領域 卒業
都立八王子桑志高校出身

プロダクトデザイン

奥井 慎太郎さん(1995年生まれ)
京セラ株式会社 デザインセンター デザイン2課
<https://www.kyocera.co.jp/>

多角的な視点で観察することが重要

社会で活躍する先輩の声

〔他専攻の学びを取り入れ
化学反応を起こす〕

他専攻領域の授業も一部受講できるので、インプットの幅を広げられるところに大学の魅力を感じました。インダストリアルデザイン専攻領域を選んだのは、他専攻の学びを自分のフィールドに取り入れやすく、化学反応を起こせると思ったからです。印象的な授業は、改札機のデザイン研究です。現状の改札機の問題を発見してデザインを提案するため、現地へ調査に行きました。最初は、どんな形がいいのかばかりを考えていましたが、人の流れや機械のエラーを見て、「形ではなく配置に問題があるのでは？」という仮説に辿りつきました。そこから新たな提案につながれたことで、馴染みのあるモノでも視野を広げて多角的な視点で観察することの重要性に気づくことができました。

〔インダストリアルデザインが
人・モノ・社会に与える価値〕

講義を通し、インダストリアルデザインが人・モノ・社会に与える価値の重要性におもしろさを感じました。中でも、様々なモノをつなげることで社会を発展させることのできる通信系のデザインに携わりたいと思いました。大学卒業後は京セラに就職し、現在はスマートフォンのコンセプト立案から形状とカラーのデザイン、量産導入に向けた色調整等を行っています。企画、営業や技術、資材など様々な部署と連携を取りながら仕事を進めています。

〔趣味と業務を隔てずに、
新しい価値を創造する〕

やりがいを感じるの、普段自分もっている趣味や興味のあることと業務を隔てずに、思考の往復をしながら新しい価値を考えるとします。そこから立てた仮説を実際に検証していける点におもしろさを感じています。この仕事は、領域を隔てず、まわりとコミュニケーションを取りながらモノづくりやストーリーを組み立てることが大切です。デザイン、表現の基礎を徹底したうえで、柔軟に新しいことや、おもしろいことを仕掛けることが好きな人に向いていると思います。

〔日々、おもしろい方向へ
アクションを！〕

小さいころから、絵やモノを作って人によるこぼせることが好きだったので、クリエイティブな職を目指し、高校からデザイン系の学校に進みました。手を動かしながらプロダクトデザインの基礎を学べる大学へ進んだこと、情報交換や競争をしながら刺激あえる仲間が集まる環境に身を置けたことなどが、私の財産になっていると感じます。みなさんも進路で悩むと思いますが、現時点で目標がなくても大丈夫。とりあえず、おもしろい兆しを感じたら、実際に足を運んで体験してください。些細なこともゲーム感覚で記録を取ると楽しくなりますよ。日々、おもしろい方向へアクションを起こしていきましょう！



TOKYO ZOKEI UNIVERSITY

〒192-0992
東京都八王子市
宇津貫町1556
[進路支援課]
042-637-8716

東京造形大学



関連キーワード
関連業種

生活プロダクト・公共プロダクト・ユニバーサルデザイン・工業製品
インダストリアルデザイナー・インテリアデザイナー・商品企画開発者



東京造形大学を卒業した先輩が携わったプロダクト

- ① WaiWai 東京モーターショー2019 出展コンセプトカー・ダイハツ工業株式会社
／池田 さやか(大学院造形研究科造形専攻 修士課程 デザイン研究領域)
- ② エッチングクリップス・株式会社デザインフィル
／矢田 洸(造形学部デザイン学科 グラフィックデザイン専攻領域)
- ③ リーンストライプ・株式会社サンゲツ
／橋本 萌子(造形学部デザイン学科 テキスタイルデザイン専攻領域)
- ④ バリタダイニングテーブル、トライアームチェア・河淳株式会社
／平田 航太(造形学部デザイン学科 インダストリアルデザイン専攻領域)
- ⑤ オーダーメイドのファッションリング(14金)・株式会社ケイ・ウノ
／池田 悠人(造形学部デザイン学科 インダストリアルデザイン専攻領域)
- ⑥ エストスキンケアシリーズ・花王株式会社
／鈴木 愛佳(造形学部デザイン学科 グラフィックデザイン専攻領域)

在学生から見たこの大学

じっくり多方面から本当に自分が取り組みたい クリエイティブを見出すことのできる環境。

「ひとつの分野に縛られずに 学びたい」

東京造形大学の魅力は、他専攻領域の科目を横断して学ぶことができることです。高校生の頃は将来のビジョンが固まっていなかったで、ひとつの分野に縛られずに自分のペースで「本当に突き詰めたいことは何なのか？」を模索したいという思いから進学先を選びました。

「映像の世界で 生き生きと働く自分をイメージ」

大学の授業で参加した地域のプロジェクトで、自分の作った映像を学外の方々に見てもらえたことが転機になったと思います。それがきっかけで、より多くの人に見てもらえるような作品を作りたいと思うようになりました。3年次を過ぎたころには、「映像を作る」という

明確な目標もできました。就職活動を終えた今も一層、映像制作にのめり込んでいます。映像制作が趣味から本格的な学びに変わったとき、映像分野の世界で生き生きと働いている自分を「理想の自分」として自然とイメージするようになっていました。

「ターゲットや媒体を 日々分析して変化させていく」

映像広告のカたちは、時代によって少しずつ変化しており、そのターゲットや媒体を日々分析して変化させていくおもしろさがあります。常に原点に戻り、目的や原理などを再考して新しい表現に挑戦していきたいです。私にとってアートは、自分の活動意欲をもっと引き出してくるもの。何か思い立ってから時間を忘れて没頭しているときが、幼いころから大好きなんです！



黒田 朋音さん 4年(取材時)

東京造形大学

造形学部デザイン学科
メディアデザイン専攻領域
都立八丈 高校出身
広告制作会社内定

「美」を究める。

女子美術、自立した女性の育成。

女子美術大学

女子美術大学 短期大学部

杉並キャンパス
〒166-8538
東京都杉並区和田1-49-8
【広報グループ】
042-778-6123



女子美術大学

デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻 卒業

都立小岩 高校出身

デザイナー

阿部 笑里菜さん (1994年生まれ)

サンエックス株式会社

<http://www.san-x.co.jp/>

自分が手掛けたキャラクターが
世に羽ばたいていく喜び

社会で活躍する先輩の声

人気キャラクター
リラックマを担当

①既存キャラクターのグッズ展開 ②オリジナルキャラクターの開発・制作 ③キャラクター監修業務、この3つが私の仕事です。特に、オリジナルキャラクターで根強いファンを獲得しているリラックマに携わっており、毎月新たなテーマを考えてシリーズ展開していきます。上長を中心にチームで取り組んでいますが、自分で考えた案が採用されればそのまま活かしてもらえるので、積極的にチャレンジしています。

作品が世に出る幸せ

入社1年目で考案したオリジナルキャラクターが社内ですべて評判になり、メモ帳の一デザインとして発売されました。数はとても少なかったけれど、感覚としては自分の「子ども」が世に出る幸せを味わえた瞬間。やはり、手掛けた作品がカタチとなり、それを好きになって購入してくださる人を目の当たりにできるのが、この仕事の一番の醍醐味だと思います。「かわいい!」と言われてもらえるとうれしくて、次の仕事への活力にもなりますね。

自由が尊重される校風で
多角的な視野を養う

小さい頃から世界観やストーリー性を持つキャラクターが好きで、リラックマは第一シリーズからのファン。その夢は高校でも変わらず、好きなことを追求したくて女子美術大学へ進学しました。当初は平面的なグラフィックに興味がありヴィジュアルデザインを専攻しましたが、自由が尊重される校風で、立体造形から映像コンテンツまで、多彩な表現に触れることができました。チームで企画立案から取り組む課題、また、キャリアセンターを介して参加したポートフォリオ作成の講習会など、実践型の学びは今の仕事をするうえでとても役立っています。

新しい視点と
柔軟な思考力を大切に!

「キャラクター好き」が一番ですが、世の中に敏感になることも大切です。「何が流行っているか」「求められているモノは何か」、市場の動向を把握できればターゲット層の好みが見えてきます。ミーハーとはちょっと違うけれど、常に新しい視点を取り入れ、柔軟な思考力を持てる人が向いていると思います。



関連キーワード
関連業種

デザイン・アートディレクター・イラストレーター・プランナー
商品企画・開発・メーカー



①



②



女子美術大学を卒業した先輩が携わったキャラコヨー

①「リラックマ」/コンドウアキ/キャラクターデザイナー、イラストレーター
©2019 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.

②「ピギーガール」/新田智里/キャラクターデザイナー サンエックス株式会社
©2019 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.



この業界・仕事を目指す大学生に聞く!

自分のやりたいことは無限大。 人と違ったことを探していきたい

「美大進学を決めたのは高3の春」

小さいころから絵を描くのは好きでした。人とは違うことをしたいと思っていたので、自分で学びを選べる総合高校を選びました。美術や工芸の授業が楽しくて、高3の時の選択授業で美術系を選び、進路を決めました。

「癒しを与える芸術表現を学ぶ」

ヒーリング表現領域は、水彩や壁画、工芸など、さまざまな芸術を通じて、癒しを感じてもらえる表現を学びます。癒しのパブリックスペース、人にやさしいロボットなどをデザインしてきました。今は、テディベアを制作しています。素材や色、顔つきなど、自分で考え、人によりそうぬいぐるみを作っています。

「人とは違った何かを見つけたい」

絵を描くのも好きですが、積層工芸もとても楽しく、自分の好きな分野がまた見つかった気がします。そしてわかってきた今の自分を考えて、将来は、文具やキャラクターの企画・デザイン、ぬいぐるみ制作、空間デザインの仕事などで働けたら、と思っています。

「街はデザインであふれています」

街にあるものや身近なもので、興味を引いたものがあれば、じっくりと見て、作った会社やデザインした人など調べてみると視野が広がると思います。たくさんの人が関わって社会ができてるので、自分の将来を考えるいい機会になると思います。



佐々木 翔子 さん 3年(取材時)

女子美術大学

芸術学部アート・デザイン表現学科
ヒーリング表現領域

都立晴海総合 高校出身

身体を動かし、五感を働かせる

視覚伝達デザインの原理や可能性を知るために、



のびのびと楽しむべし!

お客様の世界観を体现するための演出を考える舞台監督

社内で活躍する先輩の声

「コミュニケーションをとりながら、ひとつの作品を作り上げる」

高校時代は演劇部の部長を務め、ほぼほぼ部活の思い出しかないですね。みんなとコミュニケーションをとりながら、ひとつの作品を作り上げる大変さを実感しました。毎回、作品ごとに表紙から中身まで自分で構成を練ってパンフレットを作るのですが、どんな内容にすれば手に取ったお客さんに劇の魅力を伝えられるかを考えて制作した経験は、いまの仕事につながる部分もあると思います。

「課題を通し、ものに対する観察力や向き合い方を養う」

ムサビの授業で印象に残っているのは、「食」をテーマにした課題です。私は「餅」を選び、食感や形、成分や文化などの背景を調べたり、実際に食べたり餅つきをしったりして、餅に対する理解を深めてどうアウトプットすればいいのかを考えました。学生の中には、本を作る人もいれば絵を描く人がいたり、パッケージに落とし込む人もいました。この課題を通し、ものに対する観察力や向き合い方が養われたと思います。仕事でも、アウトプットが先に来るのではなく、本質を知ってからどうアウトプットするかを考えるようになりました。また、情報を自分からキャッチしに行く姿勢も身についたと思います。教えてくれるのを待つのではなく、先生からいろんな情報を引き出すのは自分自身。この姿勢がいまの活動の基盤になっています。

「自分の思い込みにとらわれず、客観的に空間を見ることが大事」

百貨店の壁面ディスプレイや什器など、クライアントの世界観や価値観を体现するための演出やプロモーションツールの制作をしています。まさに舞台監督のような仕事だと私は思います。役者(商品)がどのようなライティングで立ち回り、どのような言葉を載せれば魅力的に映るのかを考えて企画を提案しています。制作をしていると、どうしても自分の思い込みが強くなってしまいがちです。商品と私の作った空間にお客様が対峙したとき、どういう感覚になるのかを客観的に考えるように心がけています。店頭に行ったとき、自分の思い描いた通りの空間になっているとうれしいですね。お客様からの「すごい。キレイ!」という言葉にもやりがいを感じます。

「自分からおもしろい角度を探して、物事を見ること」

当社は印刷会社ですが、パッケージデザインや住宅建材、什器の制作など業務は多岐に渡ります。そこに刺激を受けていますし、自身の可能性を広げられることもうれしいです。ただ、その中で埋もれないためにも表現力が求められます。自分の考えをどの手段を使ってどう表現するか。それを意識して、感性を磨くことが大切です。高校生のあいだにしかない感受性や人間関係があると思うので、いっぱい遊んでいるようなことを吸収してください!



川嶋 明日香さん(1994年生まれ)

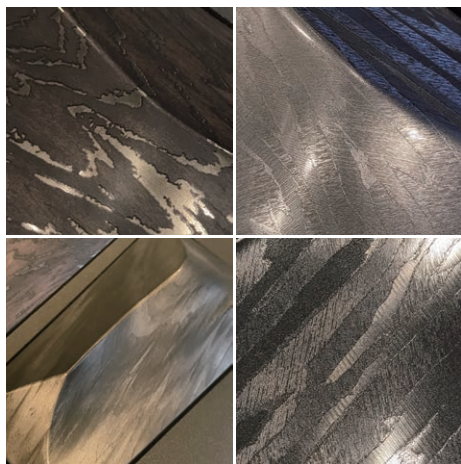
武蔵野美術大学
造形学部 視覚伝達デザイン学科 卒業
大日本印刷株式会社
情報イノベーション事業部 プロモーション本部
<https://www.dnp.co.jp>

関連キーワード
関連業種

ディスプレイ什器・店舗什器・企画デザイン・演出・プロモーション・ブランディング
什器デザイナー・パッケージデザイナー・セールスプロモーター・ブランドマネージャー



①



②



③



④

武蔵野美術大学を卒業した先輩が携わったプロダクト

- ①女性化粧用品 商品ディスプレイ・大日本印刷株式会社
／川崎明日香(造形学部 視覚伝達デザイン学科 卒業)
- ②自動車内装向けのテクスチャ意匠の企画デザイン開発・大日本印刷株式会社
／太田 浩永(造形学部 芸術文化学科 卒業)
- ③大塚製薬様・ネイチャーメイド店頭什器の企画デザイン制作・大日本印刷株式会社
／古坂 綾乃(造形学部 視覚伝達デザイン学科 卒業)
- ④「DNP環境配慮パッケージング GREEN PACKAGING」のブランディング 大日本印刷株式会社
／片平隆行(造形学部 工芸工業デザイン学科 テキスタイル専攻 卒業)

この業界・仕事をを目指す大学生に聞く！

企画コンセプトから携わり、 1つの商品を創り上げる楽しさ

「選択の多さ、自由度の高さ」

子供の頃から何か描いたり作ったり、美術・デザイン全般が好きでした。大学は美大と決めていましたが、領域まではなかなか絞りこめなかったんです。視覚伝達デザイン学科は入口で分野を特化せず、基礎力を身に着けた後に映像からエディトリアル、イラストレーション、プロダクト等、幅広い領域から専門を選択できるカリキュラムが魅力でした。

「デザインに重要な「事前準備」」

ムサビはデザイン着手前の準備にとっても時間を費やします。たとえばお茶のペットボトルのパッケージを作成する場合、そのお茶の特徴はもちろんターゲット層の絞り込み、販売地域の文化・歴史まで、一連のストーリーを頭に入れてからデザインに落とし込む感覚です。最初

は戸惑いましたが、やっていくうちにこの「準備」がデザインの根幹に大きな影響を与えるとても大事な作業だと気付きました。ただ単純に「このデザイン、おしゃれだな」と見ていた高校時代からは比べものにならないほど、デザインの奥深さを習得できたと思います。

「言葉で伝えなくても
人の心を動かすのがアート」

4年間の制作の中で鍛えられ、企画コンセプトから携わるブランディングやパッケージデザインに興味を持ちました。卒業後は大手化粧品会社へデザイナーとして就職する予定です。言葉で何も伝えずとも人の心を動かせるものがデザインやアートで、その力はとても大きいと思います。社会に出たら私も、手に取ったお客様がワクワクするような新商品を創り出したいです。



Joues Rose/化粧品ブランドの展開
容器のデザインはワインやカクテルをイメージした華やかなフォルムに。

柳田 真優さん 4年(取材時)

武蔵野美術大学

造形学部 視覚伝達デザイン学科

新しい美と文化を創造

人々の価値観やライフスタイルを提案する



文化学園大学

造形学部 生活造形学科
(現 デザイン・造形学科) 卒業

コラージュアーティスト/グラフィックデザイナー

MIDORI!さん(1986年生まれ)

<https://www.dorimil.com>

新しい価値を生み出すことができる
コラージュすることによって、
社会に活躍する先輩の声

〔 本や雑誌の
デザイナーに なりたかった 〕
コラージュを始めたのは高校生のころ。
同時に、素材として海外の古い雑誌の
グラフィックデザインにも興味をもった
ことが、いまにつながるきっかけです。
コラージュの魅力は、素材の組み合わせ
によって思いもよらない世界や物語が
生まれることです。それと、紙の質感や
手触りですね。制作ではデジタルツール
を使うこともありますが、ほとんどが手
作業です。高校卒業後に文化女子大学
(現:文化学園大学)の造形学部に進学
したのは、本や雑誌のデザイナーになり
たかったから。文化といえばファッション
というイメージですが、都心にある
キャンパスにはファッションのほかデザ
イン、建築・インテリアなどの学科があり、
学生生活を通していろいろな分野
の刺激をたくさんもらえるとあったの
が、進学先を選んだ決め手です。

〔 生活に身近なデザインを
基礎から学んだ 〕
大学では、デザインの概念から広告、雑
誌など、生活に身近で実践的なデザ
インを学びました。グラフィックソフトの
使い方など基礎から学べたこともいま
役に立っています。卒業制作は「好きな
テーマで1冊の本を制作する」というも
ので、当時映画で見てとてもかっこいい
と思っていた「ドラッグ・クイーン」につ
いて調べ、自分だけの本を制作したこと
が印象に残っています。

〔 コラージュが好き。
その気持ちが今の自分に 〕
卒業後は、広告媒体を手掛けるデザ
イン会社にグラフィックデザイナーとして
就職しました。会社ではポスターやパン
フレットのデザインを担当しながら、家
に帰ってからはコラージュを続ける
日々。ただただコラージュが好きで、そ
れは自分の楽しみのためでした。SNSで
作品の発表を始めると、お仕事の依頼
をいただいたり徐々にフィールドが広
がって、2010年からコラージュアー
ティストとしての活動を始めました。いま
は、雑誌の誌面やCDジャケット、装幀、
テキスタイルなどのデザインをしていま
す。代表的な仕事としては、ルミネや
NEWoManのウィンドウディスプレイ、
official 髭男dismのCDジャケット、
VOGUE JAPAN、GINZAなどの誌面
デザインがあります。

〔 好きなものを見つけたり
追求すること 〕
この仕事の醍醐味は、古い雑誌や紙の
素材を生まれ変わらせ、新しい価値を
生み出すことができること。紙物を愛し
ている人、手を動かすことが好きな人
に向いていると思います。高校時代は、少
しでも気持ちよくわくわくするものに
出会えたら追求してみてください。それ
を続けていくと、自然とつながるもの
があるはず。そして自分なりの強みを
発見できれば、自然と世界が広がって
いくと思いますよ。



文化学園大学

〒151-8523
東京都渋谷区代々木3-22-1
【入試広報課】
03-3299-2311



関連キーワード
関連業種

コラージュ・グラフィックデザイン・エディトリアルデザイン・装幀
アートディレクター・テキスタイルデザイナー・ディスプレイデザイナー

文化学園大学





1



2



3

MIDOR!さんが携わったデザイン

- ① official 髭男dism「Traveler」CDジャケット アートワーク
- ② 文化学園大学 2021大学案内パンフレット 表紙アートワーク
- ③ 赤坂蜚の市 in ARK HILLS / イベントビジュアル・DMデザイン
- ④ MUVEIL テキスタイルデザイン



4

文化・芸術分野を学ぶ大学生の声

学部時代の経験が、 大学院進学という道を拓いてくれた

「いろいろなジャンルのデザインに
ふれた学部生時代」

文化学園大学造形学部デザイン・造形学科を卒業後、大学院に在学中です。学部時代は1年次から、生活造形や油絵などジャンル問わずいろいろな授業をとっていました。印象に残っているのは、テレビ番組の構成についての授業。普段見ている画面ではなく制作の裏側を知ること、いままでと違う角度から物事を見ることができました。その後の自分の作品作りにも影響を受け、ただアウトプットするのではなく、正面からではわからない要素や違和感を作品に取り入れるようにしています。

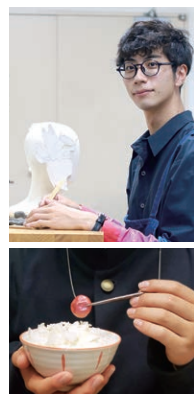
「アクセサリをとおして
日本の地方文化を伝える」

学部3年次からは主にジュエリー制作に取り組んでいます。いまは日本の地方文化を研究し、それをアクセサリにしています。地方文化に興味をもったのは、都庁の展望台に登って東京の景色を見て感じ

た気持ちがかきつけ。「いま見ている狭い世界の中だけでも、新宿や渋谷など、いろいろな文化をもつ街が目の前に広がっている」と気がついたときに、それぞれの土地の文化をもっと調べたい、それをいろいろな人にも知ってほしいという気持ちになりました。ご当地グッズ製作をしている企業を中心に就活していますが、ゆくゆくは、旅の情報も提供できるお店をプロデュースする、というビジョンを描いています。

「道は1本だけじゃないし、
道の作り方は自分次第！」

人生が映画だとしたら、高校時代はイントロダクション。起承転結の「起」です。高校3年間で人生を決める必要はないと思いますし、ある程度の道筋さえ考えられればいいと思います。私が将来を考えるとときに大事にしているのは、起承転結の「結」に向かう道を作ることだけはやめないこと。目標までの道は1本だけじゃないですし、道の作り方は自由でいいと思いますよ。



学部の卒業研究では、日本各地の伝統食材をアクセサリに。写真は紀州の梅干しのネックレス。

金谷 雄将さん

文化学園大学大学院

生活環境学研究科
生活環境学専攻2年(取材時)

「書」で芸術

書学と書作を並行した学び。

表現を追求。

大東文化大学



板橋キャンパス
〒175-8571
東京都板橋区高島平1-9-1
【入学センター】
03-5399-7800



大東文化大学

文学部 書道学科 卒業

書道家

<http://www.66mami66.com/>

万美さん(1990年生まれ)

社説で活躍する先輩の声

書道教室の先生に薦められて

小学校の書写の授業で初めて筆を持ちました。それが楽しくて、すぐに町の書道教室へ。周りの友達と切磋琢磨するうちに、将来は何かを表現する職業に就きたいと思うようになったのですが、一番しっくりくるのが書道だったんです。大東文化大学書道学科へ進学したのは、当時の書道教室の先生に薦められたから。両親の後押しも励みになりました。

台湾での現地研修で伝統の書道文化に衝撃

書道学科は専門色の強い学びではありませんが、想像以上に多彩なカリキュラムがありました。書体を細かく習得し、時代背景を学んだうえで多くの歴史的作品に触れ、いろいろな角度から見識を深められたのが楽しかったです。3年次の書道文化演習では現地研修として台湾へ。その際、日本とは違う、身体全体を使ってダイナミックに書く伝統の書道文化に衝撃を受けました。日本の書道は筆先を巧みに操る技術が優れていると思っているのですが、その2つを組み合わせれば理想の書に近づくのではないかと考えるきっかけになりましたね。

書を通してできる自分らしい自己表現

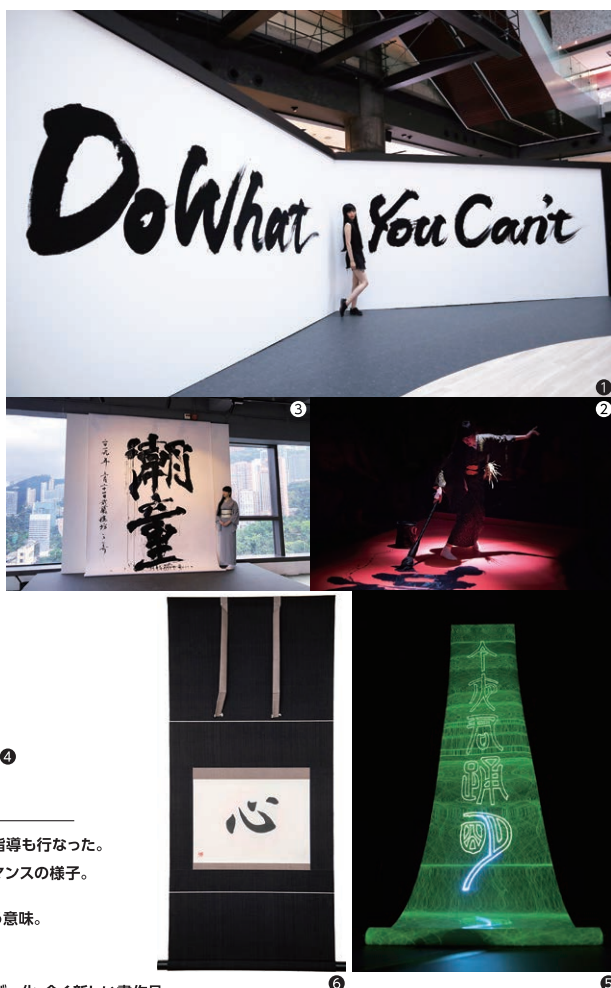
もともとヒップホップが大好き。ラッパーやDJのように、私も書を通して自分に自己表現したいと思い、現在のテーマ「Calligraf2ity」を確立しました(Calligraphy=書道、Graffiti=グラフィティ:ヒップホップカルチャーのひとつ)。書道が今ひとつムーブメントになり得ない原因として「堅苦しさ」があると思います。私はクラブで催すパフォーマンスや、ストリートカルチャーを織り交ぜた書の作品を通して、そういった固定概念を壊したいのです。本来、書道はとてもおもしろいものだから。

基礎を身に付けてこそ表現の幅が広がる

書道好きなのはもちろんですが、書学の基礎をきちんと身に付けるべきです。たとえば店舗の看板を依頼されたとして、書ける書体が限られているとそれだけで表現力が狭まってしまふ。そういう意味では、大東文化大学での学びは貴重でした。私の究極の夢は、誰もが気楽に集いやすい書道用品店をオープンすること。ユニークな発想を大切にしつつ、これからも「自由な書道」に挑戦し続けたいです。



関連キーワード



万美さんの作品

- Galaxy S10のCMにて実際に使用、展示されたパネル。Kokiさんへの書道指導も行なった。
- 現代の“茶の湯”の在り方を模索する“The TEA-ROOM”イベント、パフォーマンスの様子。
- 2019年3月に開催された香港個展でのパフォーマンスの様子。
場所はLan Kwai FongのCalifornia tower。「潮童」は「オシャレな子」という意味。
- 2019年3月に思い出の地、香港の欄桂坊エリア画にあるビルに書いた作品。
- 西武渋谷店での2019～2020年末年始個展にて制作したアーティストMES(<http://mesmesmes.asia/>)とのコラボ作品。書道をレーザー化。全く新しい書作品。
- アフリカのマラウイに3週間ボランティア滞在した時の書。

この業界・仕事を目指す大学生に聞く！

自分なりの感性で伝えたい 心にゆとりをもたらす書

書道をもっと究めたい

幼少期から書道教室に通い、学校の展示会で金賞をとったり、区の展覧会へ選ばれることに喜びを感じていました。高校で本格的に続けたいと、書道部が有名な井草高校へ。ひたすら作品と向き合っている中で、書道をもっと究めたいという想いが芽生え大東文化大学を選んだのは自然な流れだったと思います。

未知のフィールドへ踏み出せる

「書道と言えば大東！」というイメージどおり、ここでは書道に関する全般の知識を養うことができます。幅広い授業内容はそれぞれ奥が深く、貴重な古典作品を間近で見られるのも心が躍りました。また、専任教員数が多いのも大東文化大学書道学科の魅力です。実際、私

も入学するまでは漢字にしか興味がなかったのですが、仮名を深く学んでからは一気にとりこに。今は大字仮名の創作作品に取り組み、自由に文字を組み合わせて自己表現する楽しさに夢中です。わからないことは、各先生方にすぐ聞くことができる環境が整っています。

「心のゆとり」を大切に

私にとって書道は「穏やかな心のゆとり」をもたらしてくれるものですし、他の方にとってもそうあってほしいと願っています。授業を通じて硯に興味を持っているので、将来はそうした書道用品を私なりのアプローチで多くの人に広め、書道に親しんでもらうきっかけ作りをしたいと考えています。大学で好きなことをとことん追求するのは、とても楽しいですよ。



前田 真美さん 3年(取材時)

大東文化大学 文学部 書道学科
都立井草 高校出身

探求心を持って取り組めば 可能性は無限大!

立川市役所

財務部財政課財政係



帝京大学

法学部 法律学科 卒業

江野沢 貴行さん(1988年生まれ)



Q.公務員を目指したきっかけは?

私は浅草の出身なのですが、高校生のときに通学で毎日通っていた浅草寺の近くの道が綺麗に整備されて印象が急激に変ったことがありました。道が整備されたことで街全体が華やかに見えるようになり、非常に感動したのを今でもよく覚えています。そのときの感動がきっかけになって将来は公務員として街づくりに携わりたいと思うようになりました。

Q.大学生で学んだことは?

大学生活を通して多種多様な人と交流してみたいと思っていたので、全国から様々な学生が集まる帝京大学に進学しました。実際に、高校時代までの限られた生活エリアでは出会ったことのない大きな目標に向かって努力している人達と一緒に講義を受講したり遊んだりして、刺激的な毎日を送ることができました。また、卒業後の進路については2年生になる頃に意識し始めたのですが、高校時代からの街づ

くりに関わるという夢を叶えるために公務員試験対策を始めました。大学の講義も公務員試験対策になるものを意識的に選択していたのですが、早い段階から対策を行っていたことで3年生になってから公務員試験本番までの追い込みにも比較的スムーズに移行することができました。

Q.今の仕事内容を教えてください

財務部財政課に所属しており、主に福祉関係の予算編成と特別交付税の算定を担当しています。立川市役所では福祉にかかる予算が全体の1/4を占めるほど規模が大きいので、大きな責任感を持って仕事に取り組んでいます。また、特別交付税の算定では厳しいスケジュールで数値の計算を行わなければならないことが多いので、早さと正確さを両立できるように意識しています。今の所属へは2020年の春に異動したばかりなので、上司や先輩方にサポートしていただきながら、少しでも早く仕事に慣れるよう努めています。

Q.楽しんで仕事をしている?

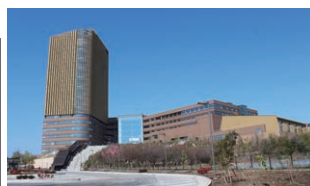
一般的に公務員の仕事は「ルーティンワークが多い」「融通が利かない」などというイメージをお持ちになる方が多いかもしれませんが、探求心を持って取り組めば創意工夫の余地はたくさんあります。これまでに交通災害共済の事務フローの大幅な見直しや執務スペースのレイアウト変更などを任せていただき、改善を行ってきました。自分の意識次第で大きなやりがいを持って働ける環境だと思います。

Q.どんな人が向いていますか?

他部署と協力して進めていく仕事が多いので、コミュニケーション能力の高い人が向いていると思います。自分のことを振り返ってみると、大学時代に海外を旅したことや様々なコミュニティに参加してたくさんの人たちと交流した経験が、今の仕事で活かせていると感じています。皆さんも興味のあることは積極的に経験してみてください。ご縁があれば立川市役所で一緒に働きましょう!

社会の法的ニーズに応えられる
人材を育成

帝京大学入試センター 〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL. 0120-335933



関連キーワード

行政職給料・福利厚生・地域貢献・社会福祉
国家公務員・税務職員・税理士・会計士



江野沢さん流、試験勉強の取り組み方

取り組むべきことの“選択と集中”が大事!

膨大な範囲にわたって出題される公務員試験を攻略するために私が行ったのは、取り組むべきことの“選択と集中”です。試験全体を通して確実に7割を得点できるように出題傾向を綿密に分析して対策を行っていました。具体的には、何度も模擬試験を受けることで自分の得意・不得意分野を見極め、効率良く得点できるポイントを集中的に勉強しました。試験問題を解く順番や時間配分もしっかり計算して、苦手分野よりも得意分野で確実に得点するのが私の戦略でした。



仕事の必需品は予算説明書と電卓。

自分年表

chronological tables

高校2年	通学で毎日通っていた道が綺麗に整備されて街全体の景観が華やかになったことに感動を覚え、公務員の仕事に興味を持つ。
大学2年	公務員試験対策を開始。大学の講義を有効活用した。
大学3年	早い段階から公務員試験の対策を行っていたことで、勉強の追い込みにもスムーズに移行することができた。
大学4年9月	立川市役所の内定を獲得する。
平成23年	立川市役所に入所。生活安全課に配属となる。
平成27年	生活福祉課に異動となる。
令和2年	財政課に異動となる。福祉関係の予算編成と特別交付税の算定を担当。



「著しく成長する立川の街づくりに携わりたくて立川市役所に入所しました」と話す江野沢さん。

公務員試験合格のために
多岐にわたる支援を行っています

キャンパスごとに多彩な講座を開催!

八王子・宇都宮・板橋の各キャンパスごとに、公務員試験合格に向けた多彩な講座やガイダンスを用意しています。

【八王子キャンパス】

公務員試験対策科目／公務員試験対策課外講座／公務員試験に関するガイダンス／公務員試験合格者体験談発表会／警視庁OB職員による模擬面接やガイダンス

【宇都宮キャンパス】

公務員講座

【板橋キャンパス】

学内消防官試験対策講座

帝京大学の公務員講座情報



CAREER SUPPORT STAFF



帝京大学入試センター
松原 桃香さん

大学選びのポイントを 教えてください

勉強でもサークルでも、やりたいことのできる環境が整備されている学校を選ぶのが大切だと思います。目指す将来に合わせて、学べる内容や取得できる資格など、たくさんの大学の中から比較してみてください。また、資格取得や奨学金制度など、サポート体制の充実度も重要なポイントです。

進路に悩んでいる高校生に メッセージをお願いします

悩みの一つとして、「大学生活のイメージが湧かない」といったことがあるかと思っています。そんなときは、各大学で開催しているイベントに参加してみるのが一番です。リアルやオンラインを問わず、学生や教員と話をして大学の雰囲気や体感してみれば具体的なイメージが持てるようになると思いますよ。



New information!

帝京大学公式SNSアカウントのご紹介

帝京大学では、SNSアカウントで高校生向けの入学試験情報やイベント情報などを配信しています。



Instagramアカウント

teikyo_university

もしくは「帝京大学」で検索してご登録ください。



Twitterアカウント

@teikyo_nyushi

もしくは「帝京大学 入試センター」で検索してご登録ください。



LINE公式アカウント

右のQRコードを読み取るか
LINE ID: @teikyo-univ で
検索してご登録ください。



地域の方々と密に関われるのが 区役所職員の醍醐味

足立区役所

災害対策課



明治学院大学

文学部 英文学科 卒業

都立上野 高校出身

河野 春樹さん(1995年生まれ)



Q.明治学院大学を目指した理由は?

高校の時にハンドボール部に入っていたことから、大学に入っても続けたいと考え、ハンドボール部のある学校を探し、明治学院大学に決めました。文学部を選んだ理由は、本を読むのが好きだったので、文学に関わる勉強をしたいと考えたからです。英語が得意だったわけではないのですが、英語に触れる環境に身を置いてみたいと考えて英文学科を選びました。すべて英語で行われる授業もあり、宿題がわからず困ったこともあります。周りに英語の得意な友人がたくさんいたので助けられました。高校のハンドボール部と比べると、大学のハンドボール部はレベルが高く、練習は厳しいながらも先輩たちはとても優しく、有意義な時間を過ごせました。

Q.公務員を目指した経緯は?

大学に入って何か新しいチャレンジをしたいと考えたとき、公務員試験に挑

戦してみようと思った。決めてからは、ダブルスクールで公務員試験の専門学校に通い、効率よく勉強できました。また、伯父が公務員として働いていることもきっかけのひとつです。伯父から「仕事が楽しい」と聞いていたので、区役所職員に興味を持ちました。大学4年のとき、足立区役所のインターンシップで広報の仕事を体験し、仕事のイメージをつかんだ上で、区役所職員を目指し公務員試験に臨みました。

Q.どのような仕事をしていますか?

災害対策課で1年目は庶務的な業務や職員向けの救命救急講習のとりまとめなどを担当しました。2年目からは、小中学校に備えてある備蓄品の管理、運用、見直し業務を担当しています。昨年度の秋、台風の影響で避難施設として小中学校を開放したときは、会場の後片付けのあと、どの備品をどのくらい使ったか集計し、補充するという作業にあたりました。

Q.仕事のやりがいはいは?

災害対策関連で一つのイベントを準備・運営し、やりきったときに達成感があります。また、改善に向けての建設的な意見をいただいたときなどに、とてもやりがいを感じます。地元の方々と密に関われるのが楽しいです。

Q.高校生へメッセージ

自筆文字の言葉は作家・坂口安吾の書いた作品中にある一文です。「精神的に優れた人ほど、色々な物事に対して大きく悩むものだ。」という意味で、悩める人こそ立派な人間であると坂口安吾は言っています。これから先、進路や友人関係、仕事などで悩むことがあっても、一つの事柄に対して深く考え、悩み抜いた経験は自身の成長につながると考えます。私自身も仕事などでたくさんの課題にぶつかりますが、この言葉のとおり「立派な人間」になれるよう日々悩み抜いています。

伝統と新しいチャレンジ

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37
【入学インフォメーション】 03-5421-5151



河野さん流、公務員試験対策

ダブルスクールで
効率のいい試験対策

大学3年の頃、就職について意識し始め、公務員を目指すことに決めてからすぐ、試験対策の専門学校を探しました。夏から公務員試験の専門学校に通い、約1年間のダブルスクールで効率よく勉強ができたと感じています。当時は、早朝のアルバイト、学校での授業、その後、部活に出ながら専門学校で試験勉強をするというハードスケジュールでした。

自分年表

chronological tables

大学3年 春	就職について意識し始める
大学3年 夏	公務員を目指すことに決め、試験対策の専門学校に通い始める
大学4年 春	足立区役所でインターンシップを体験
大学4年 夏	一次試験合格者を対象に個別面接、採用面接を実施。面接対策もバッチリ。
大学4年8月	公務員試験 見事合格
2018年4月	足立区役所に入区 災害対策課に配属(現在3年目)



この業界・仕事を目指す大学生に聞く!

勉強もサークルも充実!
理想の将来像が描けました

青山学院大学 経済学部 経済学科

都立目黒高校出身 小林 真実さん 4年(取材時)

自信に満ちた明るさが魅力

いくつかの大学キャンパスを見学に行き、その中で青山学院の学生はどの人もとても明るく、自信があって、そういう姿に憧れて、志望校にしました。また青山、表参道という華やかな土地柄も魅力的でした。実際に入学してみると、一挙に自分の世界が広がった気がします。高校時代はクラスと部活が生活の中心でしたが、大学では受ける授業ごとに学生が違うので、交友関係が豊富です。また所属したECCサークルでもよい友達がたくさんできました。週に3回、サークルの仲間で浅草などの観光地に行き、観光客に英語で案内をするというボランティア活動をやっていたのですが、外国の方は日本文化にとっても興味を持ってくれて、楽しかったです。ちょっと珍しい活動なので、4年生のときの採用面接の際には採用担当者に興味を持って

いただき、よく話題になりました。

社会の役に立ちたくて

2年生の終わりに公務員の説明会に参加してみたら、それまで抱いていた堅いイメージとは違って、現場のみなさんはとても気さくで、楽しそうな雰囲気でした。将来、私は世のため、人のためになる仕事をしたいと考えていたので、それを達成するには公務員が最適だと思い、第一志望に決めました。それから国税庁、裁判所、東京都庁などの見学にも行き、中でも庁舎で働く方々の雰囲気が一番和やかだった特許庁に興味が出て、ここで働きたいと思うようになりました。

コツコツ続ける勉強が力になる

2年生の春休みから公務員試験のための予備校に通い、コツコツと勉強を続けました。また大学と提携している予備校の先生が面接指導をしてくれて、

よいサポートになりました。1~2年生の間ですでに単位を取っておいだったので、3年生以降は自分の将来のための勉強に時間をたくさん費やせたと思います。4年生の春から試験が始まり、7月に面接。8月末に第一志望の特許庁で内定をもらい、本当に嬉しかったです。一般企業の併願をする人もいたのですが、私は気が散るのがいやで、公務員一本にしぼって頑張りました。ただ公務員試験は内定が出るのが遅く、やはり緊張感がありました。

将来への夢を大切に育てたい

大学の友人は一般企業志望の人ばかりでしたが、それぞれ自分のやりたいことに向かって頑張っていたので、会って話をするだけで勇気をもらいました。私にとって青山学院大学は、自分を成長させ、将来に向けての夢を達成する場所として、最高の舞台だったと思っています。

すべての人と社会のために
未来を拓くサーバント・リーダーを育む

青山キャンパス 〒150-8366 東京都渋谷区4-4-25
【入学広報部】 03-3409-0135
相模原キャンパス 〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1



日々のより良い暮らしのために 尽くせることが誇りです

町田市役所

市民部 市民総務課



津田塾大学

学芸学部 国際関係学科 卒業

都立立川 高校出身

勝野 早百合さん(1988年生まれ)

想いやりを
大切に

Q.現在の業務内容は？

市民部市民総務課の主な業務は、部の総務と地域センターの整備です。市内には、6つの市民センターと8つのコミュニティセンター等、5つの連絡所があり、これらの施設の整備をしています。町田市は、都内の市町村で八王子に次いで、2番目の人口を有する街。多くの市民のみなさんが、より快適な生活を送れるようサポートするのが私の仕事です。

Q.公務員を目指したきっかけは？

両親が共に、区役所の職員であったことが大きいと思います。父は「チームのなかで個々の能力を存分に発揮するにはどうすればよいか」を、母は「多くの方に有益なサービスを提供するためにやるべきこと」をそれぞれがいつも考えていて、よく話題にあがりました。自分の仕事に誇りと強い責任感、やりがいを感じている両親の背中をみて、この仕事に憧れを持ちました。将来の進路について両親に相談すると「やりた

いことがあれば、それを目指せばいい。でも『人の役に立つ仕事』も選択肢の一つに入れなさい」とアドバイスをくれました。私の「やりたいこと」は「人の役にとも立つこと」だとこの職を選びました。

Q.津田塾大学を選んだ理由は？

公務員になることは、かなり早い段階から決断していたので、法学部への進学も検討しました。でも、受験勉強を通じ、英語という語学の面白さに目覚めました。英語を学べば世界が広がります。世界各国の人と話ができるようになりますし、読める文献の数も圧倒的に増えます。そこで、英語教育に定評がある津田塾大学に進学を決めました。

Q.大学の学びが 業務に活かしている点は？

原書リーディングの授業では、自分で書籍を1冊選び、原文で読むだけに留まらず、概要を英語でまとめ、英語で発表します。また、どの授業も試験は「あなたの考えを英語で論述せよ」という

ものばかり。内容を理解し、自分の言葉でまとめ、誰かに伝える訓練を徹底的にやりました。今の業務でも、専門的な内容を分かりやすく伝える場面が多々ありますので、大学で培った能力が活きていると感じます。

Q.市役所業務の魅力は？

市役所の仕事は、日々の暮らしのために「当然あるべき業務」なのですが、それでも市民のみなさんは「新しい施設を楽しみにしている」「便利になった」と温かな声を掛けてくださいます。そんな時、人々の暮らしを少し「良いもの」にすることができたのかなど、嬉しくなります。仕事をしていく上では、相手が何を求めているのかを的確に把握し、たくさんの情報から、その方が必要な内容をわかりやすく提供することが求められます。相手の立場になって考えることが、全ての基本。これからも、多くの市民の方のより良い暮らしのために、尽力したいと思います。

創業者・津田梅子の精神を受け継ぎ、
国際社会で活躍する女性を育成する

小平キャンパス 〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1
千駄ヶ谷キャンパス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24
[企画広報課] 042-342-5113



一生をかけて労働問題に
アプローチしたいと考え、
労働基準監督官に。

千葉労働基準監督署

安全衛生課 労働基準監督官



国際基督教大学

教養学部 アーツ・サイエンス学科 卒業

都立八王子東 高校出身

宮崎 かさねさん(1988年生まれ)

働く人の
幸せのために**Q.労働基準監督官を
めざしたきっかけは?**

大学1年生だった2008年、「年越し派遣村」のニュースを見て疑問を感じたことがきっかけです。働くことは人生を豊かにするものであるはずなのに、働くことが人生を苦しいものにしてしまうこともあると知って、労働問題に目を向ける機会となりました。大学で労働法や労働経済などを学んでいたところ、地元の図書館の労働関連のコーナーで「労働基準監督官の仕事がわかる本」という書籍を見つけ、労働基準監督官を知りました。

Q.仕事内容を教えてください

労働基準監督署は厚生労働省の機関です。労働基準監督官は働く人々の安心と安全を守るために、あらゆる業種の事業場に立ち入り、労働基準法や労働安全衛生法等で定められた労働条件や安全衛生水準が確保されているかどうかを調査、指導するほか、時には司法警察官として捜査を行い送検した

り、労働災害が発生した場合には、原因の究明、再発防止のための指導を行います。また、業務上または通勤による負傷などに対して保険給付を行う労災補償業務もあります。現在、安全衛生を担当する部署に所属しており、労働災害をなくしたいという思いで毎日仕事に向かっています。一生をかけて労働問題にアプローチしたいと考えていたので、労働基準監督官という仕事は、とても魅力的に感じました。

Q.仕事のやりがいとは?

安全衛生課の主な仕事は、働く人が安心して安全に仕事に取り組めるように事業場を監督、指導することです。時には指導内容に抵抗する事業場もあります。何度も説得した結果、納得して会社が前向きに変わってくれたときは達成感があります。労働災害が多発している事業所に調査に行き、災害防止に向けた勧告や指導を行ったことで、実際に災害が減ってきたことを実感し、やりがいを感じます。

Q.大学ではどんなことを学びましたか?

メジャーは法学を専攻し、労働法、民法、憲法などに取り組みました。卒業研究は労働経済をテーマに行いました。統計分析を使って、勤務医の労働市場における流動性について分析しました。法律の勉強のほかにも、教養学部では経済や文学など様々な分野から授業を選択し、幅広く学べるのが魅力です。また、国際的な視点をもった大学なので、世の中の課題を様々な角度から考えることができました。

Q.高校生へのメッセージを

法律に興味があったので法律について学べる学部を選び、そこから一生をかけて取り組みたいテーマを見つけることができました。やりたいことが見つからないとしても、興味が少しでもあることは前向きに取り組んでみることをお勧めします。できるかできないかは自分で判断せず、とにかくやってみることで、そのうち自分のやりたいことが見つかると思います。

先駆的なリベラルアーツ教育で
幅広い学びが身につく

〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2
[パブリックリレーションズ・オフィス] 0422-33-3058

ICU

国際基督教大学
INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY
Expanding Potential



地域を支える女性警察官として 活気を持って働きたい!

麹町警察署

地域課地域第一係



画像：警視庁HPより



帝京大学

医療技術学部 スポーツ医療学科 卒業

佐合 佳奈美さん(1994年生まれ)



Q.高校時代の思い出は?

小学校・中学校の9年間、ずっと空手を続けていたので高校でも頑張りたいと思い、空手の有力校に進学しました。3年間の寮生活は大変でしたが、空手部の同級生8人はみんな仲良しで、非常に良い環境だったと思います。空手は負けたら悔しいですが、試合で勝ったときの嬉しさは格別です。また、大会では全国各地に行くので、日本中に友達ができただけが良い思い出になっています。高校時代の空手の成績は全国選抜第2位で終わったので、大学では日本一になるために帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科に進学しました。

Q.大学時代の苦労は?

所属していた空手道部では、毎朝6時半から朝練を行っており、朝練が終わったら講義に出て、講義が終わったら練習が始まるというように時間的にも体力的にもハードな生活でした。また、同じ学科にはラグビー部・硬式野球部・駅伝競走部・柔道部など、さまざまな競技の選手が在籍していたのですが、休み時間の会話が

良い刺激になっていました。帝京大学は試合の応援にも非常に力を入れていました。私も試合のときは仲間からの応援が力になっていました。4年生のときには団体で全国優勝を果たすことができ、高校時代からの夢を叶えることができました。個人でも全国ベスト8の成績を残せたので、充実した大学生活でした。

Q.警察官を目指したきっかけは?

小学生のときに地元の警察署へ見学に行っていたことがあるのですが、パトカーを見て「カッコいいな」と思ったのがきっかけです。そのときにももらったパンフレットをずっと大切に保管していました。高校3年生になって将来のことを考えたときに、卒業生が警視庁や県警に多く就職していたことと空手の強豪校であったことから帝京大学への進学を決めました。

Q.現在はどんな仕事をしていますか?

採用試験に合格し、警察学校に入校、法学、術科等、警察官として必要な教養、訓練を受けました。柔道、剣道、合気道の中からひとつ武道を選択して学ぶのです

が、私は合気道に取り組みました。卒業後は麹町警察署へ配属となり、交番勤務を行っています。おおよそのスケジュールは朝7時過ぎから合気道の朝練をしたあと勤務に入り、17時過ぎに終了です。ただし、4日に一度は夜勤があります。体力的に大変なときもありますが、交番勤務をしていると地域の方々から私の顔を覚えてくれて声を掛けてくださるのが嬉しいです。

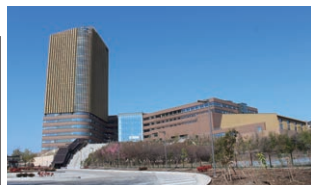
Q.この仕事を目指す高校生にメッセージを

以前に比べて女性の警察官も増えていっていると思います。女性の上司もいるので相談事もしやすいですし、育休産休を取得して子育てと仕事を両立している先輩も多くいます。女性が長く働ける環境ですし、私も定年まで働きたいと思っています。警察官になるには体力も大切ですが、なにより元気がある人が向いています。大変なこともあります。出会った人に元気に挨拶をすると、相手からも返事が返ってきて、自然とパワーが出てきます。高校生の皆さんもぜひプラス思考で、自分のやりたいことを目指してください。

自分流の生き方を実現できる
人材を育む

帝京大学入試センター 〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL. 0120-335933

帝京大学



関連キーワード

公務員採用試験・官庁訪問・地域活性化・安全保障・女性活躍
国家公務員総合職・国家公務員一般職・国家公務員専門職・地方公務員



人の役に立ちたいという思いが つなげた自衛官への道

陸上自衛隊
朝霞駐屯地

第1後方支援連隊
第1整備大隊施設整備隊



帝京大学

法学部 法律学科 卒業

陸上自衛隊 施設機械整備陸曹

佐々木 亮太さん(1991年生まれ)



関連キーワード
関連職種

公務員試験・災害派遣・ボランティア・整備
国家公務員・地方公務員・消防士・警察官

全力で
取り組むこと!!

Q.公務員を目指したきっかけは?

小さい頃から体を動かすことが好きで、消防士のように現場で体を使って人の役に立つ仕事にあこがれていました。高校卒業後の進路で迷っていたときに、担任の先生から「公務員を目指すなら大学で法律を学ぶのもいい」というアドバイスを受け、法学部のある帝京大学に進学しました。大学での学びはどの科目も覚えることが多く、授業についていくのに必死でした。

Q.現職を志望した理由は?

大学在学中に起きた東日本大震災が転機となりました。連日テレビから流れる被災地の様子に「何か自分にもできることはないか」と考え、ボランティア活動に参加、宮城県気仙沼市でがれき除去などを行いました。その際、被災者の方から自衛隊に非常に助けられているという話を聞き、初めて自衛隊を意識しました。その後、大学の合同説明会に参加し、東京地方協力本部の広報官から自衛隊の仕事について詳しく教えてもらいました。

その方がとても良い方で「自衛官としてやっていけるだろうか」という漠然とした不安を抱いたときも、前向きな気持ちになるような言葉で励ましてくれました。そのおかげで、昔から目指していた消防士と自衛官との間で揺れていた気持ちが自衛官に定まりました。同級生が民間企業から内定をもらっている時期も、自衛官になるという意志は揺らぎませんでした。

Q.現在の仕事内容を教えてください

油圧ショベルなど施設器材の整備を行っています。器材を移動させるため、入隊後に大特免許を取得しましたが、普段は運転ではなく整備がメインの仕事です。一般曹候補生として入隊後、最初の3ヶ月間は神奈川県武山駐屯地で前期教育を受け、自衛官としての基本を身につけました。周囲には高校卒業後すぐに入隊した人もいましたが、毎日寝食を共にしているうちに年の差は関係なく「同期の仲間」になりました。後期教育では現在の部隊で専門職種に必要な技能や知識を学び、そのまま配属と

なりました。普段は駐屯地や演習場で整備していることがほとんどですが、災害派遣では被災された方と直接お話をする機会があります。昨年の台風19号による災害派遣で給水支援を行ったときも、たくさんの方から感謝の言葉をいただきました。小さい頃から目指していた「人の役に立つ仕事」に従事できていることを実感し、やりがいを感じました。

Q.自衛官に向いているのはどんな人ですか?

団体で行動する機会が多いので、仲間意識を持って行動できる人が向いていると思います。

Q.高校生へのメッセージを

自衛隊で働くために必要なものは、すべて入隊後に身につけることができます。各種資格は職種に応じて取得できますし、体力面で不安がある人も、最初の3ヶ月間でしっかり走れるようになります。ですから、学生時代はそのときしかできないことに、ぜひ全力で取り組んでください。

公務員試験合格のために多岐にわたる支援を行っています

キャンパスごとに多彩な講座を開催!

八王子・宇都宮・板橋の各キャンパスごとに、公務員試験合格のため多彩な講座やガイダンスを用意しています。

【八王子キャンパス】

公務員試験対策科目/公務員試験対策課外講座/公務員試験に関するガイダンス/公務員試験合格者体験談発

表会/警視庁OB職員による模擬面接やガイダンス

【宇都宮キャンパス】

公務員講座

【板橋キャンパス】

学内消防官試験対策講座

帝京大学の
公務員
講座情報





患者さんが失った身体能力を
取り戻す過程に立ち会い、伴走する

目標を決めたら
迷わずに!!

立川相互病院

立川相互病院



東京都立大学

健康福祉学部 理学療法学科 卒業

山田 眞美さん(1992年生まれ)

学問の力で、 東京から世界の未来を拓く

緩和ケアの専門性を身につけて、認定看護師を目指したい

この業界・
仕事を目標ず
大学生に
聞く!

ユニセフのCMで看護に興味

小学生のころ、ユニセフのCMを見て、アフリカの子どもたちがワクチン1本で命を救われることを知り、医療や看護に興味を持ちました。母が病院で看護助手をしていたことから、看護師と助手では業務内容が違うことなどを聞いていたので、特に看護師に憧れを持っていました。

実習で終末期の患者を担当

授業では、緩和ケアに特に興味を持って学んでいましたが、実習では、授業で得た知識を活用しながら、貴重な経験

ができました。実習の中で実際に終末期の患者さんを受け持つ機会があり、すでに死を受け入れていると思っていた患者さんに、あるきっかけで「怖い、死にたくない」と気持ちを打ち明けられ、患者さん一人一人ときちんと向き合うことの大切さを教わりました。その患者さんに「あなたがいて助かった」と言っていたので、私にもこの分野でもっとできることがあるのではと感じました。

認定看護師を目指す

この先、終末期の患者さんと関わる

現場で働きたいと考えています。まずは一人前の看護師となり、さらに緩和ケアの専門性を身につけて、認定看護師を目指したいです。

高校の基礎的な知識は大切!

大学では附属病院の先生が行う授業もあり、手術の時に実際に撮影された映像が使われるなど、とても具体的でわかりやすかったです。高校の基礎的な知識を習得していないと、最初は勉強についていくのが大変かもしれません。きちんと勉強しておくことをおすすめします。



実習の場で知識だけではなく
実践的な技術、経験を身につける。

順天堂大学

医療看護学部 看護学科

都立墨田川 高校出身

小櫃 杏子さん 4年(取材時)



順天堂大学医療看護学部
JUNTENDO UNIVERSITY FACULTY OF HEALTH CARE AND NURSING



順天堂大学

浦安キャンパス 〒279-0023 千葉県浦安市高洲2-5-1 【代表】047-355-3111

【医療の仕事に携わりたかった】

子どもの頃から漠然とですが、医療の仕事に携わりたいと考え、高校1年の時に理学療法士になろうと決めました。祖父が訪問リハビリでお世話になったことや、従兄弟が理学療法士だったことが影響したと思います。決めた後に迷うことはありませんでした。むしろ迷う時間がもったいない。目標を決めたらぶれないタイプですね。

【身体能力を取り戻す過程は興味深い】

脳卒中や骨折などで入院した患者さんが、失った身体能力を、目標に応じて取り戻すためのリハビリを行います。具体的には器具を使った訓練やストレッチ、筋力トレーニングなどの指導です。患者さんが当初でできなかったことを次第にできるようになる過程は

非常に興味深く、ご本人や家族の方が喜んでくださると私もうれしいです。その反面、高齢でリハビリに関心を示さない方に意欲を持っていただくのは大変です。一緒に散歩しましょうと誘ってみたり、一人で食べられるようになりましょうと声を掛けたりと、工夫しています。

【中高大と現在もダンス一筋】

中学高校とダンス部でした。体を動かすのは好きですね。将来を想像した時、事務作業をしている自分は思い浮かばず(笑)、体をアクティブに使う分野で働きたいと思いました。医療の仕事には医師、看護師、薬剤師、作業療法士などいろいろありますが、活動量の多い理学療法士が、いちばん自分に合っていると考えたのです。大学でもダンスサークルに入り、大学祭や新

人歓迎の舞台上で発表するなど、達成感があって楽しかったですね。当時の仲間とは今も付き合いがあり、医療以外の仕事の話なども聞けて視野が広がります。

【仕事の実態を早めに知っておく】

理学療法学科のある大学(または専門学校)に入学し、国家試験に合格する必要があります。私は入試面接で「理学療法士はどういう仕事をしているか知っているか」と問われました。面接を課す大学は少ないですが、たとえ入試になくとも、仕事の実態を知っておくことは大切です。病院見学やボランティア、模擬授業などの機会をとらえ、自分なりの仕事像を早めにつかむようにしてください。



〒116-8551
東京都荒川区東尾久7-2-10
【荒川キャンパス】 03-3819-1211



東京都立大学



充実した校舎で技術を身につけ、世界に羽ばたく医療者に！

盛り上げ役のムードメーカー

中学でバレーボール部だったわたしは、人一倍元気だったので、みんなを盛り上げるムードメーカーの役割でした。高校時代は演劇部に所属し、高2の都大会で特別賞を受賞し、3年の夏に国立劇場で公演するという夢のような経験もいろいろ思い出です。

健康科学部看護学科の一期生

看護師だった祖母の仕事に、幼いころからあこがれていたんです。進路選択

で看護系の大学を調べ、東邦大学健康科学部看護学科の一期生募集を知りました。設備が整った新しい校舎で技術を身につけ、自分の道を切り拓きたいと考え、志望を決めました。

自ら考え、実践する看護実習

健康科学部では、20名前後の学生に対し1名のアドバイザー教員がおり、相談しやすい環境が整っています。1年次は看護師の仕事見学、2年次の病院実習では患者さんを受け持つことができ、経験を重ねることで確実に技術

を身につけていきます。最初は緊張しましたが、しだいに患者さんとコミュニケーションがとれるようになり、嬉しかったです。

海外での医療貢献を目指して

大学卒業後の数年間は病院に勤務し、いずれは臨床経験を活かして青年海外協力隊の一員として、国際協力に携わるのが目標です。そのために看護師だけでなく保健師の資格取得も目指し、日々勉強に取り組んでいます。

この業界・仕事をを目指す大学生に聞くと！



少人数教育で実践力と人間性を養い、
看護の専門家を養成する

東邦大学
健康科学部 看護学科

都立駒場 高校出身
原 瑞紀さん 2年(取材時)



東邦大学



東邦大学

大森キャンパス 〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16 03-5763-6598
習志野キャンパス 〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 047-472-0666

独創的な製品の開発で
人々の健康維持・増進をサポート



自分なりに
工夫する!!

大塚製薬株式会社



東京薬科大学

薬学部 医療衛生薬学科 卒業

都立国立 高等学校出身

米澤 夏美さん(1988年生まれ)

花咲け薬学・生命科学

人々の福祉と健康への貢献を目指して

より多くの患者さんを助けられる人間になりたい

この業界・
仕事を目指す
大学生に
聞く!

自分の可能性を広げたい

オープンキャンパスで先輩からいろんな話を聞き、東京薬科大学に進学しました。決め手は、海外研修があること。5年次に行うのですが、現地の学生と交流し、語学だけではなく医療知識をメインに身につけられるところに惹かれました。あとは、研究室がたくさんあることも。研究分野の幅が広く、自身の可能性を広げられるところにも魅力を感じました。

相手の気持ちに寄り添うことも大切

現在は、薬学の知識、医療現場の倫理観、相手の気持ちに寄り添うことの大切さなどを学んでいます。その中でも、投与した薬がどういう経路で吸収され

て作用していくかを辿る薬物動態、薬がどう体に効果をもたらすのかを明らかにする薬理学の授業が印象に残っています。授業以外にも、いろんな行事へ参加し、幅広い経験を通して価値観を広げることも、相手に寄り添ううえで大切だと感じます。

薬剤師が活躍できる場所

高校生までは、薬剤師というと薬局で働くイメージでした。でも大学で学ぶなかで、病院、製薬会社など、薬剤師資格をいかして活躍できる場所がたくさんあることを知りました。今は創薬の研究室に所属し、新しい医薬品の開発について研究しています。将来は、研究職・開発職に就き、目の前の患者さんだ

けでなく、より多くの患者さんを助けられる人間になりたいという目標ができました。研究開発は、ひとりでは何もできません。仲間とデータや知識を共有し、力を合わせて新薬を開発していきます。開発に必要な協調性も研究室で養うことができていると思います。

幅広い分野に踏み込む

薬学部の勉強はハードだというイメージがあると思いますが、高校時代からコツコツと勉強するくせを身につけておけば大丈夫です。あとは、社会問題や公害病など、受験科目だけでなく幅広い分野に踏み込んで勉強することも大切。大学では、いろんな分野を融合して学ぶ機会が多いですよ。



充実した海外研修制度や幅広い分野の研究室。
自分の可能性を広げられる場所

東京薬科大学 薬学部 医療衛生薬学科

都立八王子東 高校出身 岡 香月さん 4年(取材時)

人々の健康をサポートする モノづくり

人々の健康の維持・増進を目的とした食品の開発及びお客様に届ける仕事をしています。入社後は徳島の研究所で、飲料の新製品開発業務を担当。風味づくりや添加する栄養成分を検討するレシピ開発、そして工場で大規模生産をするための製造方法設計などを5年半行いました。入社4年目でボディメンテドリンク（大塚製薬独自の植物乳酸菌B240とこだわりの電解質バランスで“飲んでカラダをバリアする”という新しいジャンルの飲料）の開発担当になり、初めて自分の担当した製品が発売されるという経験に恵まれました。現在は本社で、新製品発売や安定生産のサポート業務を担当。各部署間の連携を取り持つことで、製品を世に送り出し、安定的にお客様に届ける仕事をしています。

大学での学びをきっかけに、「治す」よりも「ならない」の視点

大学で特に印象に残っている授業は、今の仕事を指すきっかけとなった、

薬理学と薬局実習です。薬理学は薬の効果効能、作用機序、副作用を学びます。どんな薬にも効果の反面必ず副作用があることから、「病気を治すのではなく、病気にならないようにしたい」という思いを持つようになりました。また、薬局実習では想像以上に生活習慣病の患者さんの多さに驚き、生活を見直すことで病気が予防できればいいなと考えるようになりました。これらの経験により、日々の生活に欠かせない「食」から人々の健康の維持・増進をサポートできたらと思い、健康食品を扱うメーカーを志望するようになりました。

開発担当した製品が発売される喜び

製品開発の醍醐味は、担当した製品が世に出て、人々の健康サポートに貢献できることです。店頭で製品を目にした、町中で飲んでくれている人を見かけたりした時は、嬉しさがこみ上げます。特に「美味しい」「いつも飲んでるよ」という声を耳にしたときは、本当に感無量です。

大切なのは熱い思い

この仕事に向いている人は、「食を通して人々の健康をサポートしたい」という熱い思いのある人。その思いがあれば、いろんな発想が膨らみ、こういうものを作りたいという情熱をもって、開発業務に意欲的に取り組みると思います。

転んでも、ただでは立ち上がらない

大学の勉強は暗記が多く、とても苦労しましたが、時間の使い方を工夫することで、部活動との両立も実現でき、充実した大学生活を送れました。時間の使い方を意識したきっかけは、高校時代に文武両道ができなかった挫折経験です。当時は辛かったけど、挫折による学びは、社会人になっても活かせることが多く、今となってはこの経験に感謝しています。人生山あり谷あり。色々なことがあります。転んでもただでは立ち上がり、どんなことも経験としてプラスに変えていくことが大切だと思います。一緒に頑張りましょう。



東京薬科大学

八王子キャンパス

〒192-0392

東京都八王子市堀之内1432-1

【広報課】042-676-5111

東京薬科大学



光るタンパク質で、がん診断への貢献をめざす！

充実した資格取得サポート体制

東京工科大学は、大学生活や資格取得へのサポートが行き届いている印象です。例えば、大学1～3年次までは「アドバイザー」の先生が決まっており、学修指導をはじめ学生生活全般をフォローしてもらえます。また、私の学部生時代には資格取得サポートがあり、これを活用して中級バイオ技術者の資格を取得。資格対策講座も開催されるなど、資格取得において大変役立ちました。

研究内容を深められる環境

友人たちが就職活動を開始するなか私も

就職すべきか、それとも研究を続けるかでとても悩みましたが、最終的には研究を続けたいという強い意思を持って大学院へ進学。研究内容を深められる環境であることはもちろんですが、大学院では研究全体を把握してスケジュールを組み、工夫し、実験を構築することが求められるので、研究スキルそのものに加えて、物事の進め方や主体性が身に付けられると感じています。

がん診断技術の開発に貢献

ホテルなどが持つ光るタンパク質と、がんの指標となる分子を結合させた“人工発光タンパク質”の活用が私の研究

テーマです。このタンパク質を利用することで、がん診断技術の開発に貢献したいと考えています。手探り状態からスタートした研究ではありますが、先生方のアドバイスもあり、軌道に乗っています。

人の健康に寄与する仕事

直近の目標は、この研究を発展させて学会で発表をすること。さらには、学術誌に掲載されるレベルの論文を書き上げることをめざしています。将来は、大学時代から築き上げた知識・技術を生かして、人の健康に寄与する仕事ができればと考えています。

この業界・仕事をめざす
大学生に
聞け！



キャリアや資格に関するサポートも充実している大学です

東京工科大学大学院

バイオ・情報メディア研究科 バイオニクス専攻 修士課程

都立松原 高校出身

岩崎 優果さん 2年（取材時）

東京工科大学



東京工科大学

八王子キャンパス 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 【広報課】0120-444-903